

わくわく防災フェス

STVどさんこ防災プロジェクト

「わくわく！防災フェスin白老～守る・備える・楽しく学ぶ～」が9月21日、中央公民館で行われ、来場者が防災への意識を高めました。

町制施行70周年のSTVどさんこ防災プロジェクトとして実施されたフェスには150人が来場。初めに大塩英男町長が「白老でも防災対策は不可欠。楽しく防災を学ぼう」とあいさつ。村雨美紀、宮崎愛瑠の両アナウンサーによる防災授業では、大きな声を出すポイントや頭を守るポーズなどが解説され、防災ダンスも楽しみました。お笑いコンビのアップダウンによる津波の語り部漫才も披露され、楽しく防災を学びました。



竹浦小 避難訓練

しらおい防災マスター会と連携

竹浦小学校（千葉康弘校長）で9月26日、避難訓練・防災訓練が行われ、子どもたちが津波発生を想定した避難経路などを確認しました。

しらおい防災マスター会（吉村智会長）が学校と連携、初めて取り組みました。訓練では全校児童21人の子どもたちが津波発生を合図に竹浦神社まで避難。続いて、体育館では「きめておこう おうちのひととあえるばしょ」などと書かれた防災かるたを楽しみました。吉村会長は「防災は子どものころからやっていると効果が高い。今後も町民の役に立つ活動をしていきたい」と話していました。



鈴木知事が「ナチュの森」視察

鈴木直道知事が10月8日、虎杖浜の「ナチュの森」を訪れ、「ナチュの森で縄文にであう展」などを視察しました。

鈴木知事の訪問は、市町村の魅力や取り組みなどを発信する「なおみちカフェ」の一環です。同施設を運営するナチュラサイエンスの小松令以子代表取締役社長らの案内で施設を回った鈴木知事は「縄文遺跡群の世界文化遺産登録はコロナ禍で往来が自由にできない状況。もう一度縄文を盛り上げていきたい」と話しました。



ポロトミントラフェスティバル

しらおいポロトミントラフェスティバル2024が9月14、15日、ポロトミントラ（白老駅北観光インフォメーションセンター）で開催されました。イベントでは、来場者がキッチンカーやテント内物販、ミニ縁日などで白老の食を楽しみました。子どもも大人も楽しめるビンゴ大会やお笑いコンビ「スクランブル」のステージ、ダンスイベントなどで大いに盛り上がりました。

